



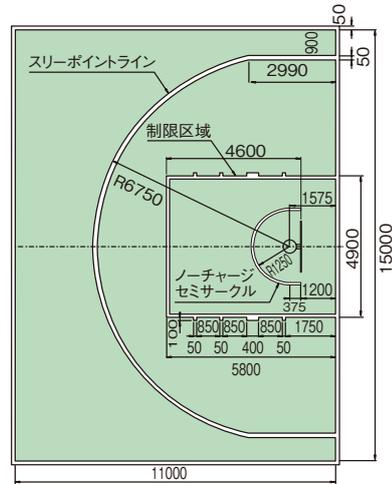
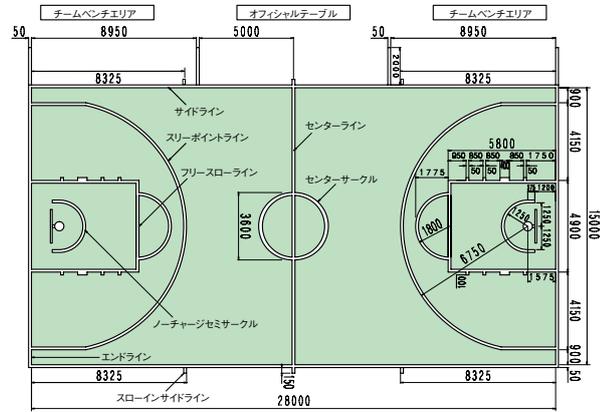
※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

バスケットボール・車いすバスケットボール

3x3コート

公式競技用コート28M×15M。

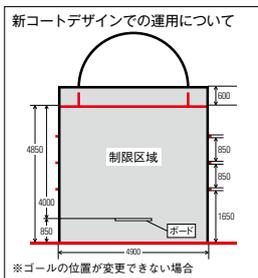
- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。
- 障害限度
境界線から障害物や観衆まで2M以上、天井の高さは7M以上。



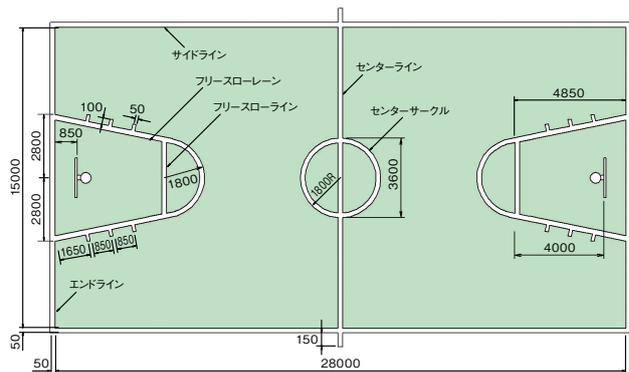
ミニバスケットボール

コートの大きさは、縦28M~22M、横15M~12Mとする。
初心者のコートの大きさは変更してよいが、縦・横の長さの
釣り合いはこれに比例するようにする。

- コートは内側で測り全ての線幅は50mm。



[長方形の場合]

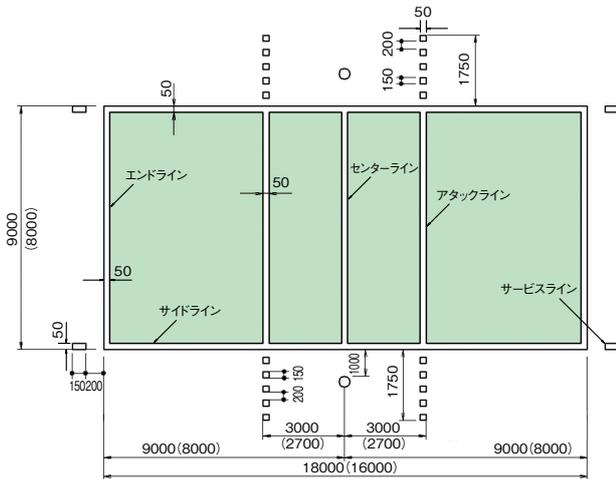


[台形の場合]

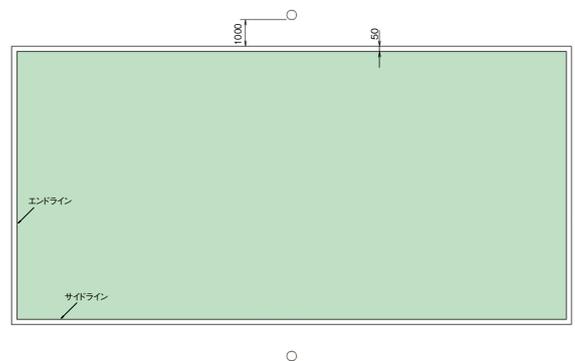
6人制バレーボール

- ネット高さ
一般男子：243cm 一般女子：224cm 中学男子：230cm 中学女子：215cm
高校男子：240cm 高校女子：220cm 小学男子：200cm 小学女子：200cm

- 障害限度
サイドラインより5M以上、エンドラインより6.5M以上。
高さは国際大会で12.5M以上、国内大会で7M以上。
アタックラインの延長線上に長さ15cmの点線を20cm間隔で画線する。



9人制バレーボール



	長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ	長さ(外側)	幅(外側)	ネット高さ	
一般男子	21M	10.5M	238cm	家庭婦人	18M	9M	205cm
一般女子	18M	9M	215cm				

図面単位：mm

コート
製品

体操器具
バスケット
バレーボール
その他屋内
球技器具
体育館施設
器具

格技器具

障がい者
関連器具

フィットネス
器具

体力測定
器具

ロッカー・
清掃器具

水上器具

屋外施設
器具

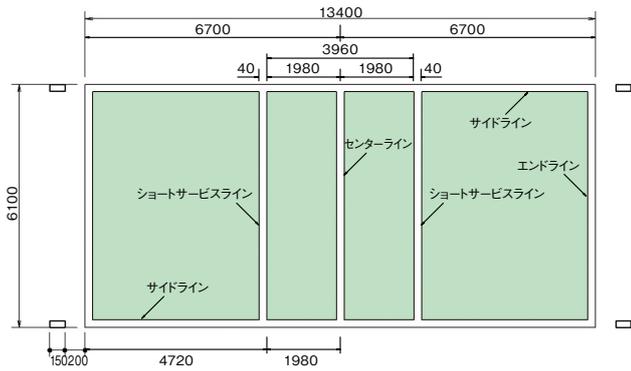
サービス事業

資料



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

ソフトバレーボール

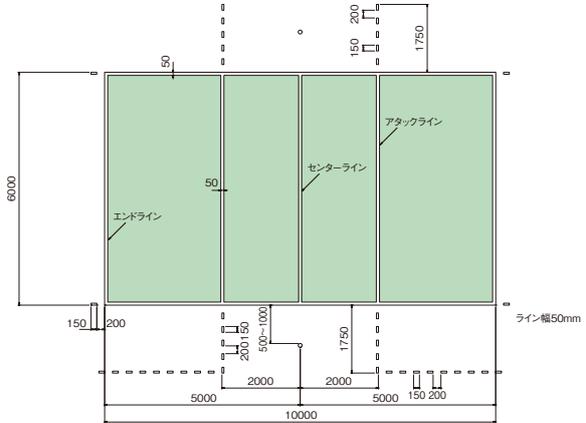


コートは、13.4M×6.1Mの広さを持つ長方形であって、最小限2Mの幅の長方形のフリーゾーンによって囲まれている。コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画される。また、ネットの真下に、両サイドラインを結ぶセンターラインを引き、コートを2等分する。ネットの高さは、200cmとし、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用いる。コートは、バドミントンのダブルス用コートの外側ラインを利用してよい。

座位バレーボール

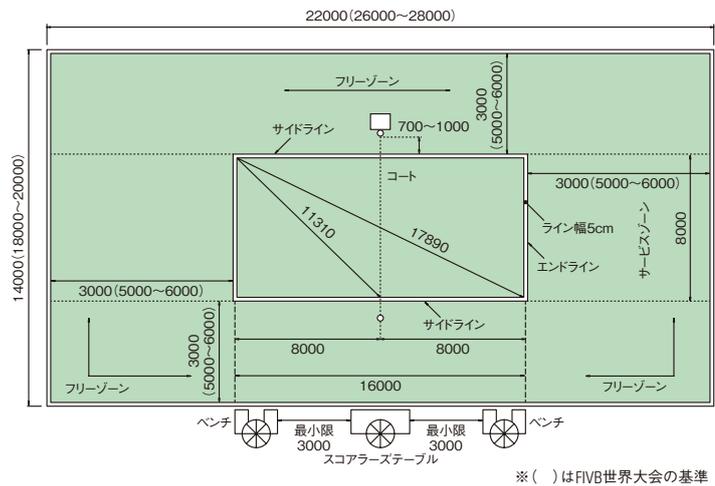
公式競技用コート10M×6M。

- ネットの高さ
男子：115cm 女子：105cm
- 障害限度
サイドラインより4M以上、エンドラインより5M以上。
高さは7M以上、国際公式試合では10M以上。



ビーチバレー

- ネット高さ
一般男子：243cm 一般女子：224cm
16歳以下男子：224cm 16歳以下女子：224cm
14歳以下男子：212cm 14歳以下女子：212cm
12歳以下男子：200cm 12歳以下女子：200cm
- コート
16M×8Mの長方形でライン幅は5cm。
地面はできる限り水平で均一であり、選手に危険性のないもの。
国際大会では、砂地は最低40cmの深さがあり、きめ細かい粒の砂。
- 障害限度
ラインから3M以上。
国際大会では5M以上6M以下。
高さは7M以上、国際大会では12.5M以上。



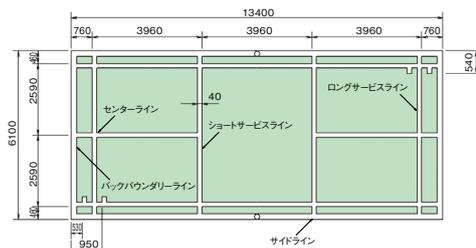
※ () はFIVB世界大会の基準

バドミントン(ダブルス)

ポスト高さはコート面から155M、サイドライン上に立てられない時は40mm以下の細いポストカストラップを用い、サイドラインに固定させ、ネット紐に垂直に立てる。

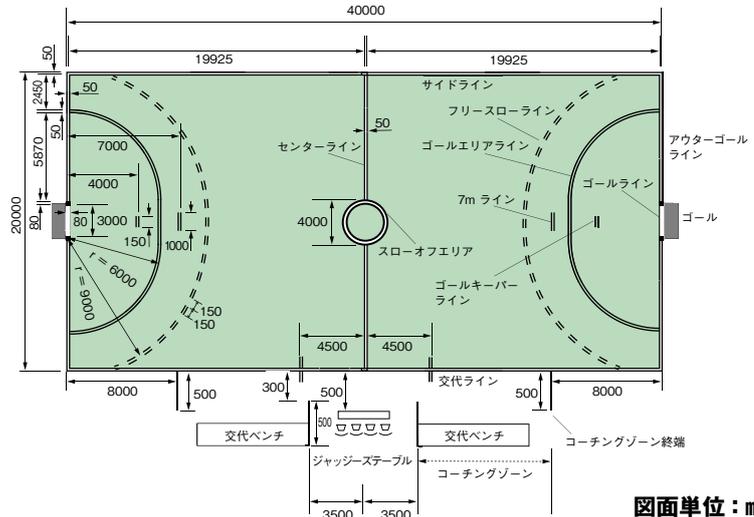
- 対角線距離
シングルス…半コート 8.469M
全コート 14.366M
ダブルス…半コート 9.061M
全コート 14.723M

- 障害限度
ラインよりそれぞれ2M以上、高さ12M以上
(公式試合)



ハンドボール

コートは長さ40M(小学生の場合は36Mが標準)幅20Mの長方形で2つのゴールエリアと1つのプレーイングエリアで構成される。コートの周囲にはサイドラインに沿って幅1M以上、ゴールラインの後方に幅2M以上の安全地帯を設けなければならない。
2本のゴールポストの間のゴールラインは幅80mm、それ以外の各ラインはすべて幅50mmとする。
※直径4000mmのスローオフエリアをラインで引いたコート



図面単位：mm

コート
製品

体操器具

バスケット
ボール器具

バレーボール
器具

その他屋内
球技器具

体育館施設
器具

格技器具

障がい者
関連器具

フィットネス
器具

体力測定
器具

ロッカー！
清掃器具

水上器具

屋外施設
器具

サービス事業

資料

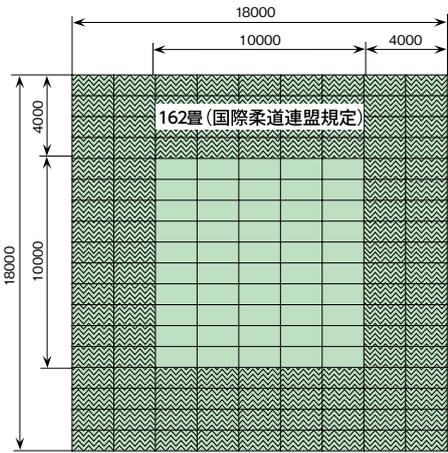


※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

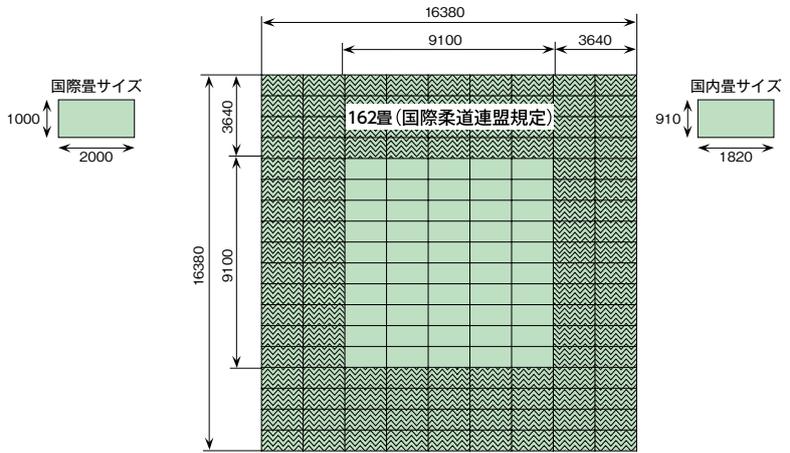
柔道

IJF主催のオリンピック、世界選手権、世界マスターズ、各種選手権の場合、試合場内を10M×10M、場外安全地帯を4Mで行います。上記以外のIJF主催の大会では、試合場内を8M×8M、場外安全地帯を3M~4Mで行います。

関西間敷き込み (10M×10Mに近づけた場合)

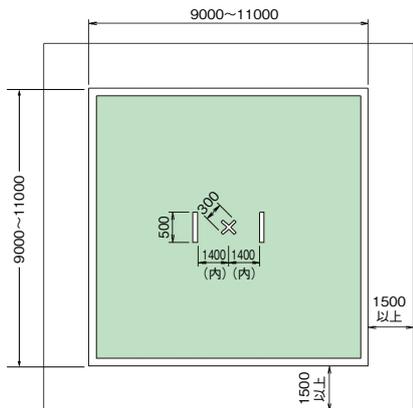


場内・場外を2色とする

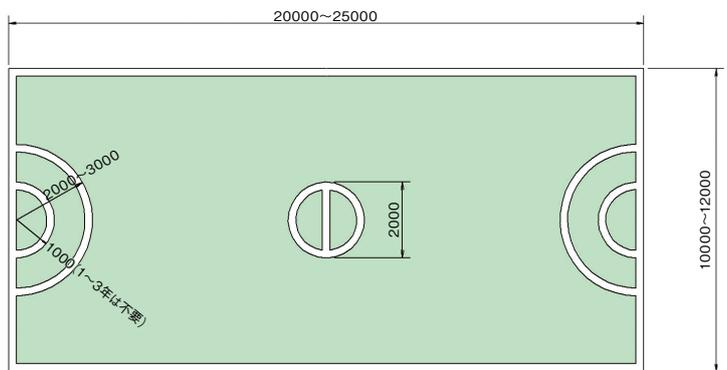


場内・場外を2色とする

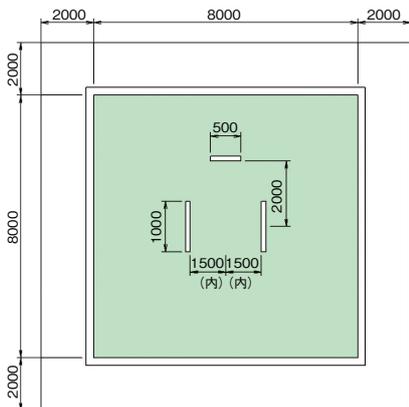
剣道



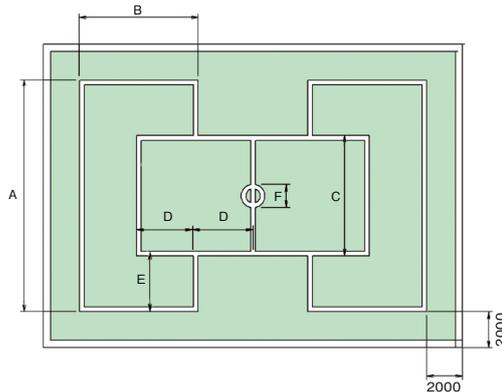
ポートボール



空手



ドッジボール



	小学生男子 小学生女子 中学生女子	中学生男子 高校生女子 一般女子	高校生男子 一般男子
A	16	19	22
B	8	9.5	11
C	10	11	12
D	5	5.5	6
E	3	4	5
F	3	3~4	3~4

(単位: M)

図面単位: mm

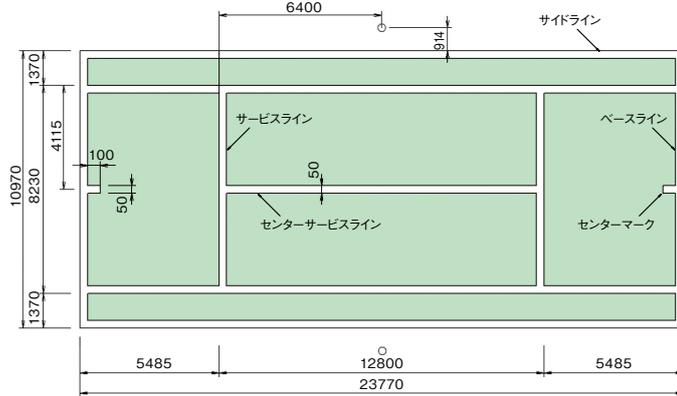
体操器具
バスケット
バレーボール
その他屋内
球技器具
体育館施設
格技器具
障がい者
関連器具
フィットネス
器具
体力測定
器具
ロッカー・
清掃器具
水上器具
屋外施設
器具
サービスマ
資料



※コートサイズは参考資料です。実際にコート画線の際は正式ルールブック等でご確認ください。

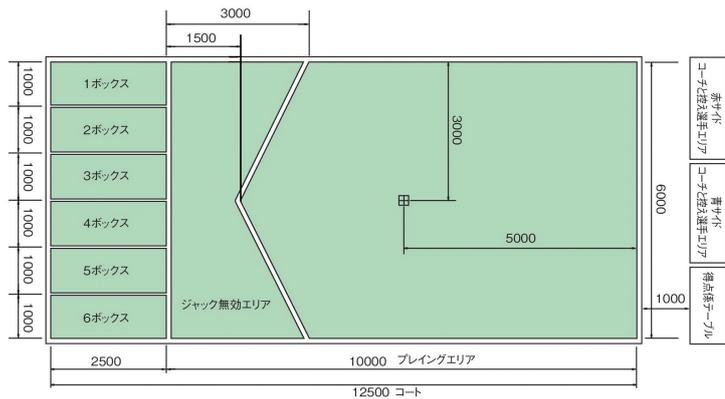
硬式テニス(ダブルス)

公式試合の場合はベースライン外6.4M以上、サイドライン外3.66M以上の空地がなければならない。
 国際大会、公式トーナメントについては、ベースラインからバックストップまでの距離は最低でも6.4M以上、サイドラインからサイドストップまでの距離は最低でも3.66M以上が望ましい。
 2面以上コートが並列する場合は、コート間の距離は3.66Mの2倍、7.32Mが望ましい。
 特記なきライン幅は全て25mm~50mm。ポスト高さ1070mm、ネット高さはセンターで914mm、センターは50mm幅ストラップ止め。



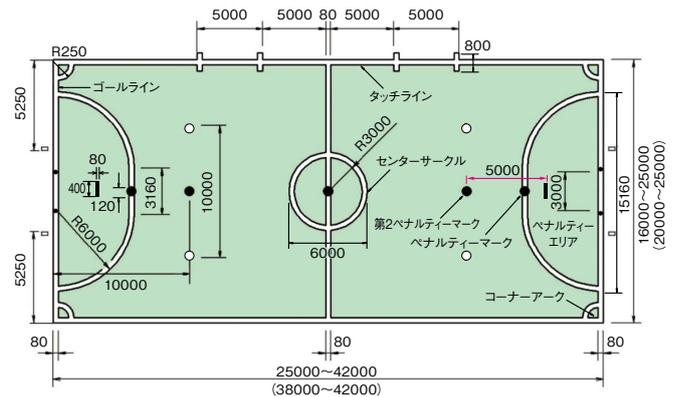
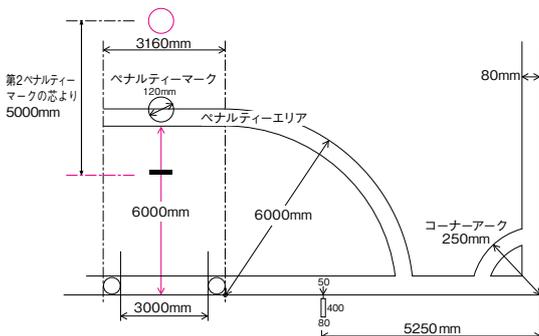
ポッチャ

コートの寸法は12.5Mx6Mとし、スローイングエリアは6つのスローイングボックスに分けられる。コートの外枠のラインは、内側を基準として計測する。スローイングボックスを区切るラインおよびクロスラインは細いテープを使用し、テープの中心が規定の位置となるよう左右均等に貼る。スローイングラインとVラインは、ジャック無効エリア内に貼る。
 すべてのコートラインは、容易に識別できるものでなければならない。ラインは粘着テープを使用してもよい。コートの外枠、スローイングライン、Vラインには幅4.0または5.0cmの太いテープを使用する。スローイングボックスを区切るライン、ターゲットボックス、クロスには幅2.0cmの細いテープを使用する。ターゲットボックスの内寸は35cmx35cmとする。35cm四方のターゲットボックスの外枠は細いテープを使用する。



フットサル

競技場は長方形で、縦25M以上42M以下、横16M以上25M以下とする。縦の長さには横幅より大きいものとする。競技場は図に示すとおり、幅8cmの境界線によって描く。長いほうの境界線をタッチライン、短いほうをゴールラインという。ハーフウェイラインは競技場を横切って引かれる。競技場の中央を適当な印で示しこれを中心に半径3Mの円を描く。



()内は国際試合寸法
 図面単位: mm

コート
 製品

体操器具

バスケットボール器具

バレーボール器具

その他屋内球技器具

体育館施設器具

格技器具

障がい者関連器具

フィットネス器具

体力測定器具

ロッカー・清掃器具

水上器具

屋外施設器具

サービス事業

資料